

## ATP ふき取り検査から A3 (ATP + ADP + AMP) ふき取り検査へ ～ルミテスター&ルシパック 20 年の歩みと今後の展開～



その他

キッコーマンバイオケミファ(株)

企画開発部 江戸川技術開発グループ

場家 幹雄

キッコーマングループでは、長年の醤油醸造で培ってきた酵素や発酵などのバイオ技術を応用して、各種衛生検査キットの開発に取り組んできた。ATP ふき取り検査に関しては、1998 年に試薬「ルシパック」と測定装置「ルミテスター C-100」の販売を開始。2001 年には C-100 を小型化・軽量化したハンディタイプの「ルミテスター PD-10」を発売。その後も、試薬および測定装置の改良を重ね、最新の測定装置として「ルミテスター PD-30」(2014 年発売)、最新の測定装置として ATP・ADP・AMP を同時に測定できる「ルシパック A3」の販売を開始した(2017 年 5 月現在)。

本講演録では同社における ATP ふき取り検査法のキット化に関する開発の経緯などを振り返るとともに、「A3 法」(ATP + ADP + AMP ふき取り検査)の原理や特徴なども紹介している。A3 法は、微生物繁殖の温床となる「汚れ」を広く検出できることから、食品現場や医療現場の清浄度確認、従業員の意識啓発など、幅広い用途での活用が期待されている。